

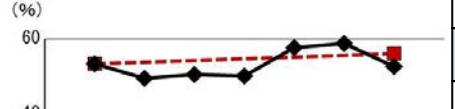
政策 04 都市基盤に関する政策

施策 01 調和と魅力ある土地利用の推進

あるべき姿

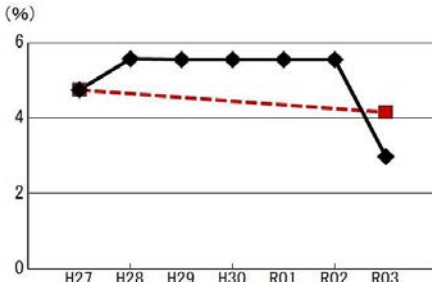
都市と緑が調和した秩序ある土地利用がされています。

■ 施策の成果状況と評価

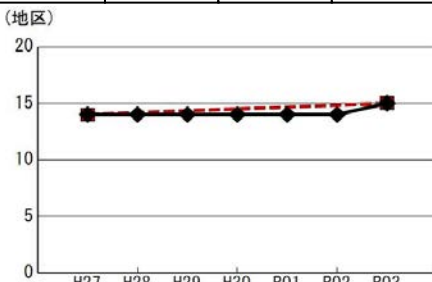
指標	周辺環境と調和した土地利用がされていると思う市民の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値																																
	【都市計画課】	53.3	58.7	52.6	56.0	 (低下)																																
評価	（状況）調和のとれた土地利用がされている（されている部分が多い）と感じる市民の割合について、H29～R3平均値（53.9％）は、基準値（53.3％）と比較して、0.6ポイント向上しました。 （要因）土地区画整理事業の進捗や生活道路の整備、公園整備などによる生活環境に密接に関係する事業がある程度完了したことにより向上したと考えられます。	(%)  <table><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27</td><td>53.3</td><td>53.3</td><td>56.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>53.3</td><td>50.0</td><td>56.0</td></tr><tr><td>H29</td><td>53.3</td><td>51.0</td><td>56.0</td></tr><tr><td>H30</td><td>53.3</td><td>50.0</td><td>56.0</td></tr><tr><td>R01</td><td>53.3</td><td>58.7</td><td>56.0</td></tr><tr><td>R02</td><td>53.3</td><td>59.0</td><td>56.0</td></tr><tr><td>R03</td><td>53.3</td><td>52.6</td><td>56.0</td></tr></tbody></table>				年度	基準値	実績値	目標値	H27	53.3	53.3	56.0	H28	53.3	50.0	56.0	H29	53.3	51.0	56.0	H30	53.3	50.0	56.0	R01	53.3	58.7	56.0	R02	53.3	59.0	56.0	R03	53.3	52.6	56.0	対 前年度
						年度	基準値	実績値	目標値																													
H27	53.3	53.3	56.0																																			
H28	53.3	50.0	56.0																																			
H29	53.3	51.0	56.0																																			
H30	53.3	50.0	56.0																																			
R01	53.3	58.7	56.0																																			
R02	53.3	59.0	56.0																																			
R03	53.3	52.6	56.0																																			
						 (低下)																																
						目 標 達成度																																
						 (中)																																

■ 基本事業の成果状況と評価

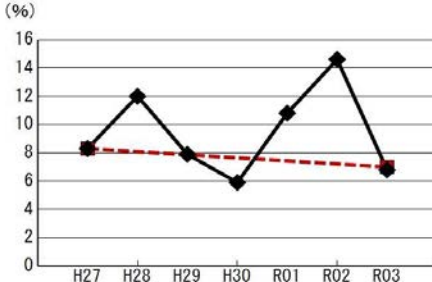
基本事業01 適正な土地利用の促進

指標	市街化区域内の未利用地割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【都市計画課】	4.75	5.55	2.98	4.15	☀ (向上)
評価	(状況) 5年に1度の都市計画基礎調査を実施したH28実績値から2.57ポイント向上しました。基準値(4.75%)からも1.77ポイント向上しています。					☀ (向上)
	(要因) 5年に1度の都市計画基礎調査の結果であることから、今年度対象とする数値が出ました。未利用地が解消されていると考えられます。引き続き、市街化区域の有効利用が図られるよう選択と集中による都市基盤整備を進めます。					☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 住みやすい・住み続けたい住環境づくり

指標	地区計画・建築協定締結箇所数（累計）（地区）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【都市計画課】	14	14	15	15	☀ (向上)
評価	(状況) 地区計画数・建築協定数は基準値(14箇所)から1地区増加しました。					☀ (向上)
	(要因) R3年度に箕田地区地区計画を策定したためです。					☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 住みやすい・住み続けたい住環境づくり

指標	住宅購入・借り換えを目的に、他市へ転出した割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R03)	対 基準値
	【総合政策課】	8.3	14.6	6.8	7.0	☀ (向上)
評価	(状況) 住宅購入・借り換えを目的に、他市へ転出した割合は、基準値(8.3%)と比較して、1.5ポイント向上しました。					☀ (向上)
	(要因) 三世帯住宅取得補助金において、転居での補助金交付件数が、R2年度の40件からR3年度には45件と5件増加しており、住宅購入を目的とした転出割合の減少に寄与したのと考えられます。					☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)